

令和8年度

消防隊員用個人防火装備仕様書

鹿島地方事務組合消防本部

消防隊員用個人防火装備仕様書

第 1 総 則

1 目的

この仕様書は、鹿島地方事務組合消防本部（以下「当消防本部」という。）が購入する消防隊員用個人防火装備（活動服を除く。）及び付属品（以下「防火装備」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

2 概要

- (1) この防火装備に使用する材料及び付属品は、「消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン」に準拠し、墜落制止用器具については、関係法令に適合したものであること。
- (2) 防火装備は、防火服（上衣、ズボン）、防火帽、しころ、シリコンバンド、防火靴、防火フード、墜落制止用器具、収納バッグ及びワッペンで構成するものであること。
- (3) 防火装備に使用する材料及び付属品は、仕上りが優美な製品であり、縮み、傷、汚れその他外観を損なうような欠点のない新規製品とする。
- (4) 受注者は、防火装備の制作又は納品にあたり、本仕様書において変更、又は不明点が生じたときは、直ちに当消防本部に連絡すること。
- (5) 契約締結後、速やかに採寸を含めた製作工程表を提出すること。
- (6) 防火装備について、工業所有権に関する法令に抵触する事項の有無に十分留意すること。また、問題等が発生した場合は、受注者側で責任をもって解決すること。
- (7) 数量は、2 概要(2)に示す防火装備一式 5 8 組とする。
- (8) 本防火服の契約は、鹿島地方事務組合議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（平成 1 3 年 3 月 1 日条例第 2 号）第 3 条の規定による議会の議決を経たときが本契約となる。なお、議会の可決を得られないとき、鹿島地方事務組合は損害賠償の責めは負わない。
- (9) 防火装備は、令和 9 年 2 月 2 6 日までに納品すること。

第 2 細 則

1 防火服

防火服は、帝国繊維株式会社製（商品名インスパイヤー 3DP）とし、仕様の詳細は次のとおりとする。（別図 1 から 4 参照）

(1) 共通事項

ア 外装色

外装色は基本色をゴールド色とし、一部をネイビー色とする。これらの配色については、別図 1 及び別図 2 のとおりとする。

イ 反射テープ

貼付する反射テープは圧着式とし、色はオレンジ色（両端2線）とシルバー色（中央）とする。貼付位置については、別図1及び別図2のとおりとする。

(2) 上衣

ア 襟

外襟及び内襟に表生地を使用し、首部を覆う立ち襟とする。

イ 前開き

ファスナー合わせとし、更に左身頃に前立てを付け、右身頃との面ファスナー止めとする。前立ては身頃から襟まで続けて縫い付ける形状とする。

ウ 袖

肩先に縫い目のない立体構造の形状とし、腕の運動を考慮した型紙とする。肘部と袖口にはゴム補強布を縫い付ける。左上腕にワッペン用の面ファスナー（メス）を縫い付けること。

エ 胸ポケット

(ア) 左右胸部に、雨蓋(2分割)付き2方マチポケットを取り付ける。

(イ) ポケット底部には水抜き用のアイレットを付け、雨蓋とは面ファスナー止めとすること。

(ウ) ポケット内側には無線機固定用のループを取りつけること。

(エ) ポケットのサイズは、別図1のとおりとする。

オ 腰ポケット

(ア) 左右腰部に、雨蓋付き2方マチポケットを取り付ける。

(イ) ポケット底部には水抜き用のアイレットを付け、雨蓋とは面ファスナー止めとすること。

(ウ) ポケットのサイズは、別図1のとおりとする。

カ ループ

襟、胸ポケット上部及び脇に、ループを取り付けること（配置場所は別図1参照）。

キ 中衣の仕様は、次のとおりとする。

(ア) 透湿防水層と遮熱層兼裏地を別々に作成し、縫い合せた中衣とする。

(イ) 前開き見返しのファスナー及び衿と袖口の面ファスナーで、外衣と脱着できる構造とすること。

(ウ) 袖口にはリブを付け、背中と脇の3ヵ所に冷却材用ポケットを縫い付けること。

(エ) 防水性を考慮した型紙、仕様とし、透湿防水層の縫目にはシームテープを貼り付けること。

(オ) 裾部分にはファスナー開閉により、シームテープが確認可能な構造とすること。

ク 文字入れ

背面上部はネイビー色で「茨城県」及び「鹿島地方消防」を、背面下部にシルバー色の反射材で「KASHIMA F.D.」のゴシック体文字を貼付すること。（別図

1 及び別図 3 参照)

(3) ズボン

ア 前開き

ファスナー合わせとし、更に左身頃に前立てを付け、右身頃との面ファスナー止めとすること。

イ 膝

立体構造の形状とし、膝の運動を考慮した型紙とする。膝前部にはゴム補強布を縫い付ける。

ウ 裾口

裾口脇側はファスナー開閉とし、面ファスナー開閉のタブを縫い付け、裾口廻りを調節できる構造とする。裾口にはゴム補強布を縫い付ける。

エ 脇ポケット

(ア) 脇ポケットには雨蓋付き 2 方マチポケットを取り付ける。

(イ) ポケット底部には水抜き用のアイレットを付ける。

(ウ) 雨蓋は面ファスナー止めとする。

(エ) 左脇ポケットは 2 分割とし、当該ポケットのサイズは、前側が墜落制止用器具のカラビナとロープが収納できる大きさに、後ろ側は 500 ミリリットルのペットボトルが縦に収納できる大きさとする。

(オ) 脇ポケットのサイズは、別図 2 のとおりとする。

オ ループ

脇ポケット前側に、ループを取り付けること（配置場所は別図 2 参照）。

カ ウエストベルト

平カンとテープを使用し、腰の両側で確実に締め付けることができ、面ファスナーで固定できる構造とする。ベルト通しは 4 カ所とし、前部と脇部はドットボタン開閉とする。また、ベルト通しについては、墜落制止用器具のサイズを考慮し、製作すること。

キ サスペンダー

前腰部に 2 カ所、後腰部に 2 カ所のサスペンダー脱着ループを取り付け、脱着式の専用サスペンダーを付ける。

ク 中衣

中衣の仕様は、次のとおりとする。

(ア) 透湿防水層と遮熱層兼裏地を別々に作成し、縫い合せた中衣とする。

(イ) 腰見返しのファスナー及び前開きと裾口の面ファスナーで、外衣と脱着できる構造とする。

(ウ) 膝部に保護パッドを縫い付ける。

(エ) 防水性を考慮した型紙仕様とし、透湿防水層の縫目にはシームテープを貼り付ける。

(オ) 腰部分にはファスナー開閉により、シームテープが確認可能な構造とする。

(4) 生地材料

ア 表生地

- 混率 メタ系アラミド49% パラ系アラミド50% 制電性繊維1%
- イ 中衣生地（上衣/ズボン 透湿防水層）
混率 メタ系アラミド95% パラ系アラミド5%
透湿防水フィルム（PTFE 製）加工、透湿度 700g/m²以上
- ウ 中衣生地（上衣 遮熱層兼裏地）
混率 メタ系アラミド95% パラ系アラミド5%
- エ 中衣生地（ズボン 遮熱層兼裏地）
混率 メタ系アラミド90% パラ系アラミド10%

2 防火帽及びしころ等

防火帽は、北川工業株式会社製（商品名FD-8型）、しころは、帝国繊維株式会社製（商品名インスパイヤー3DP）とし、これらの仕様の詳細は、次のとおりとする。（別図5及び6参照）

(1) 帽体

ア 本体

帽体は、FRP製（ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂による強化プラスチック製）で、耐食性に優れ、自己消火性を有するものとし、表面はシルバー色でウレタン表面塗装を施すこと。

イ き章及び周章

き章は、帽体前面に樹脂フィルム3D加工シール式のもの、周章は、帽体の周囲に赤色反射テープを階級線毎に貼付すること。

ウ 文字入れ

帽体の両側面に、「鹿島地方消防」と黒色ゴシック体で文字入れし、ウレタンクリアー仕上げで表面加工を施すこと。また、後部に黒文字の職員名を記載した白色のシールを貼付すること。

エ 掛け金具

帽体の後部中央に、半月環状の掛け金具が取り付けられていること。

オ その他

形状はセミジェット型とし、重量は950g以下とする。

(2) 着装体

ア ハンモック

かぶり深さが調整できる、補助ハンモック付であること。

イ ヘッドバンド

ヘッドバンドは、頭回りに応じて約520mmから約630mmまでの範囲で、5mm（寸法許容差：±2mm）ごとにワンタッチダイヤルで調整できるものがあり、頭が接触する部分に吸収性及び耐久性に優れた素材が取り付けられていること。

ウ しころ取付板

着装体には、しころを取付けるための板を設け、押しホック（オス）を6個取り付けること。また、当該押しホックのうち、左右前面のものについては可

動式とすること。

エ 頭頂パッド

頭頂部には、吸水性及び耐久性に優れた素材を使用した頭頂パッドを着脱可能な方法で取り付けること。

(3) 顎ひも

顎ひもは、片方をワンタッチ金具により着脱できるものとし、使用中に防火帽の脱落又はぐらつきがないように確実に締められるものであること。また、顎ひもは、交換できるものとする。

(4) 着装体固定リベット

着装した状態で、着装体固定リベットと着装者の頭部が直接接触しないこと。

(5) シールド板

ア シールド板は、インジェクション成形で18mmから20mmの厚みがあり、引き出しやすいように取っ手を設けること。

イ シールド板は、帽体内に収納できる構造とし、ラチェット式で円滑に引き出せる機構を有するものであること。

(6) しころ

ア 頭部及び顎部の周囲を炎や熱から保護するため、防火服と同等の耐炎性及び耐熱性を有すること。

イ 防火服の表生地と同色、同一生地と片布を使用し重ねて縫い合わせたものであること。

ウ 完全装着時は、防火ヘルメットのシールド及び防火衣の襟と重なるものとし、隙間ができないものとする。

エ 防火服の肩部分に余分に重ならないようにすること。

オ しころには、防火帽の着装体に取り付けるための押しホック（メス）6個を設けること。

カ 顔面を覆う折り返しに面ファスナーを貼り付け、折り返してホック止めとする。

キ 外面両脇に所属ワッペン取付用の面ファスナー（メス、直径70mm）をつける。

(7) シリコンバンド

帽体には、ヘッドライト等を固定するためのシリコンバンドを設けること。

3 防火靴

防火靴は、青木安全靴製造株式会社製のガードランナーGTCとし、詳細の仕様は次のとおりとする。（別図7参照）

(1) 甲革及び筒布

甲革は牛皮、筒布はアラミド生地とすること。

(2) 裏布

裏布は、防水透湿素材（GORE CROSSTECH®）を用いた4層構造とし、防水耐久性及び透湿性に優れ、耐化学薬品性、耐血液・体液防護性を有すること。

(3) 先しん

先しんは、鋼製又は樹脂製とし、落下物等による 200 J 以上の衝撃エネルギーから、つま先を保護できること。

(4) 踏抜き防止板

表底と中底との間に踏抜き防止板を入れ、釘等を踏んだ場合、貫通しないこととし、足を保護できること

(5) その他

ア 防火靴上部に、着脱用のループを 2 個設けること。

イ 防火靴の重量は、サイズ 26 c m で片足 900 g 以下とすること。

ウ 交換可能な甲ベルトを設け、足首の固定感を高めること。

エ 静電気帯電防止措置が講じられていること。

4 防火フード

防火フードの仕様は、火災現場での発がん性物質の暴露に耐えうる防塵性能を有し、放射熱による火傷から顔面等を保護し、蓄熱を最小限にとどめ、残留熱火傷や熱中症リスクの低減を図れるもので、帝国繊維株式会社製（商品名 HDT-205）又はこれと同等以上のものとする。（別図 8 参照）

5 墜落制止用器具

墜落制止用器具は、墜落制止用器具の規格（平成 31 年厚生労働省告示第 11 号）に適合し、藤井電工株式会社製、型式 TB-S 5 A-0T521A、黒色、使用可能重量 130kg 対応、ワンタッチバックル式を基本仕様とする。

6 収納バッグ

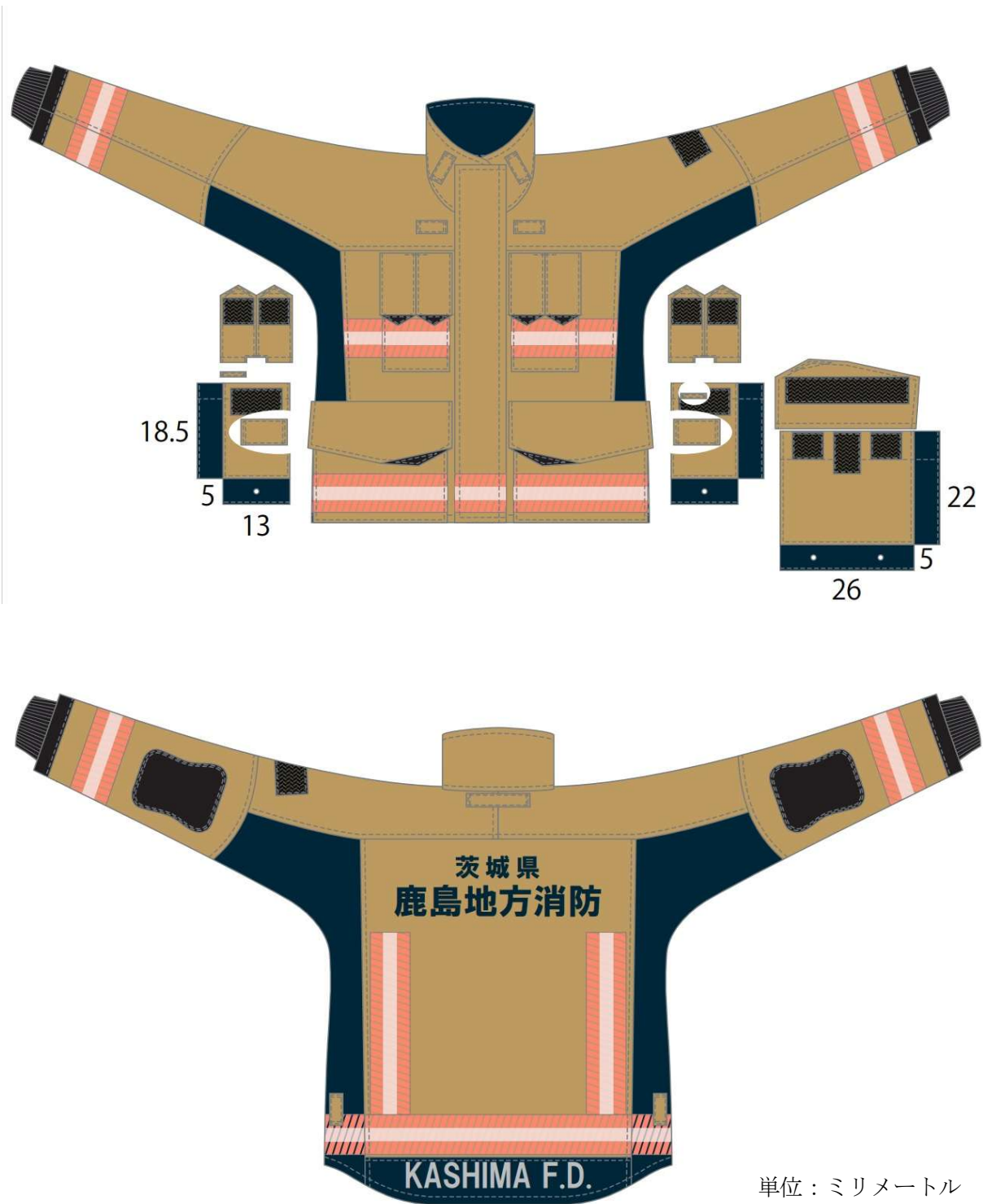
株式会社消防ユニフォーム社製、E e ボストン（大型ボストンバッグ）、黒色、サイズ H390mm×W580mm×D380mm、容量 85L、又はこれと同等以上で、防火装備一式を収納できるバッグとする。

7 ワッペン

ここでいうワッペンとは、1(2)ウに記載の「左上腕にワッペン用の面ファスナー（メス）」に貼付するワッペン

であり、生地については表生地をターポリン（防炎性）、裏生地を面ファスナー（オス）とし、サイズ及び文字入れは別図 9 のとおりとする。

別図1 防火服（上衣）



生地	ゴールド×ネイビー
反射テープ	オレンジ×シルバー 75mm 圧着
プリント	ネイビー(非反射)、シルバー(反射)
標準品からの変更点	配色、前丈75ミリカット、裾カーブ、反射テープ位置変更 両胸マイクループ、襟ループ、後裾切替え、脇裾ループ 胸ポケット仕様変更、肘当て、腰ポケット仕様変更、 左袖ワッペン受(120mm×60mm)

別図2 防火服 (ズボン)



別図3 上衣背面上部の文字

C.B

**茨城県
鹿島地方消防**

390mm

カラー：ネイビー（非反射）

別図4 上衣背面下部の文字

C.B

KASHIMA F.D.

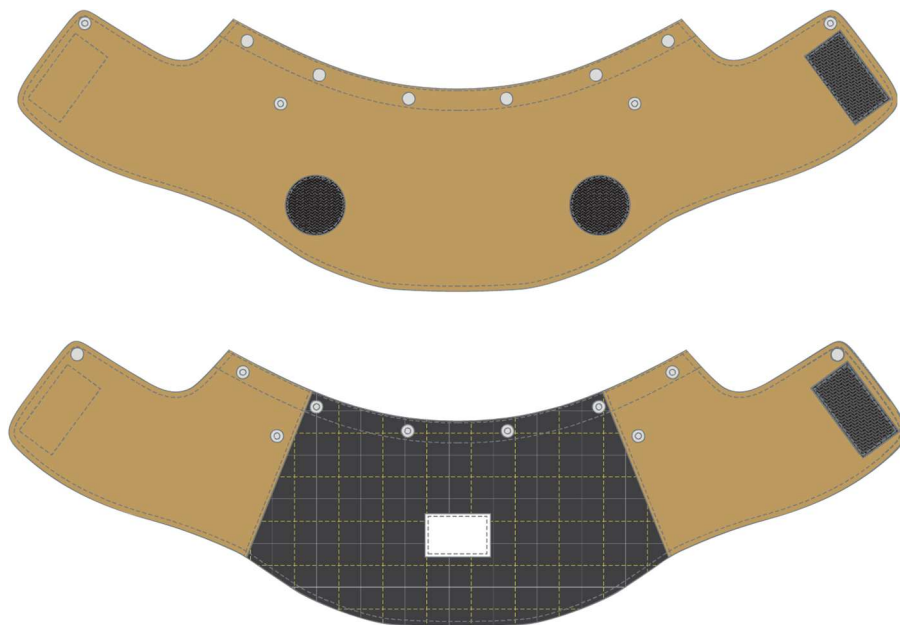
350mm

カラー：反射シルバー

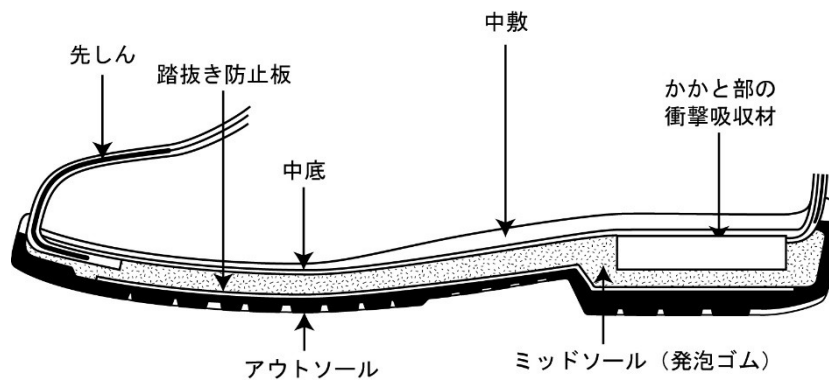
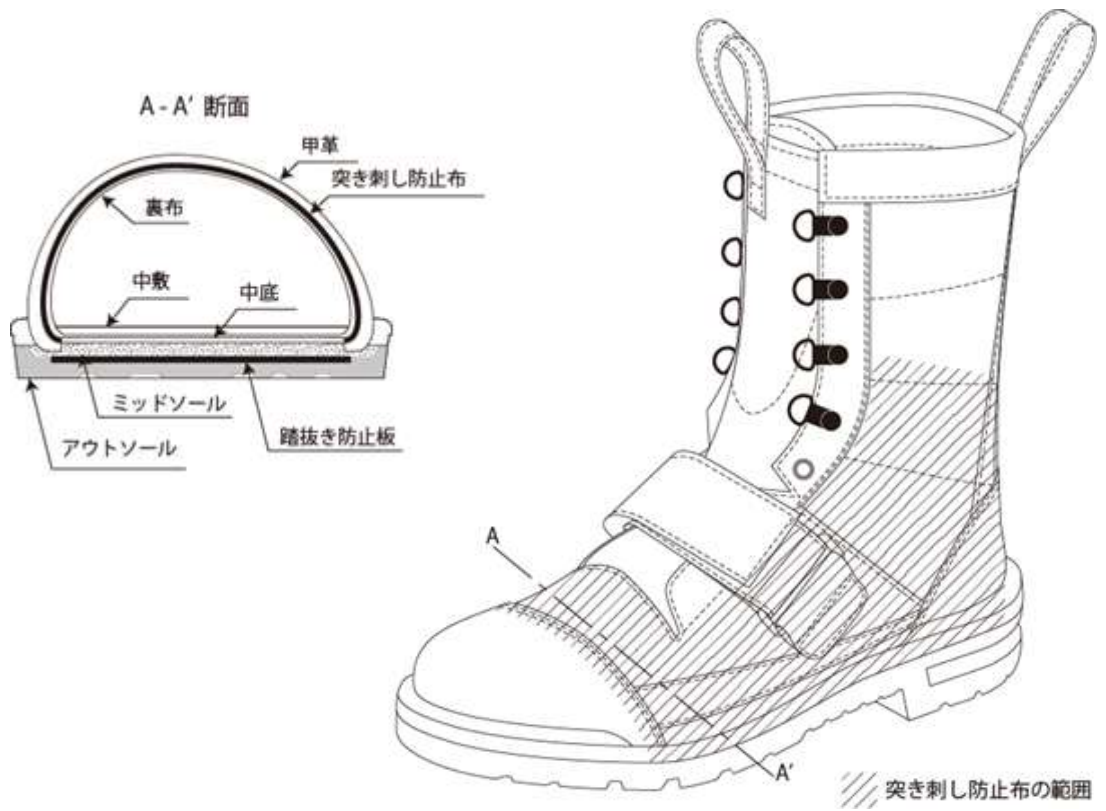
別図5 防火帽（赤帯は周章（階級）とする。）



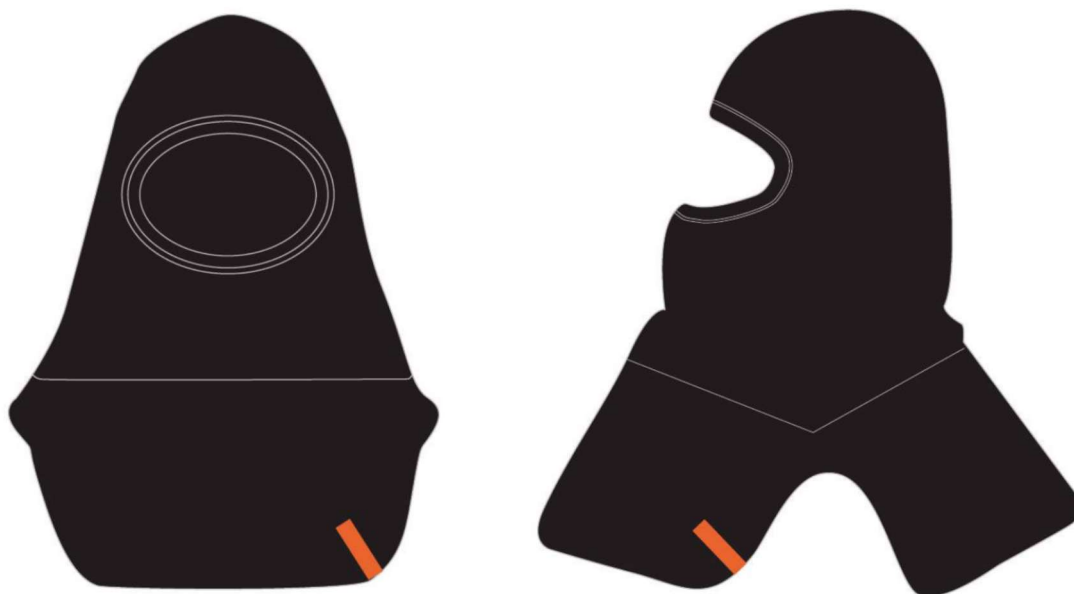
別図6 しころ



別図7 防火靴



別図8 防火フード



別図9 腕章（左上腕ワッペン）

表生地：ターポリン（防炎性）、裏生地：面ファスナー（オス）
 サイズ 120mm×60mm
 色及び文字

大野	地色 黄 字色 黒	土合	地色 黄緑 字色 黒
鹿嶋	地色 緑 字色 黒	大隊長	地色 黒 字色 白
鹿島港	地色 赤 字色 黒	指揮	地色 黒 字色 白
神栖	地色 青 字色 黒	情報	地色 黒 字色 白
波崎	地色 橙 字色 黒		